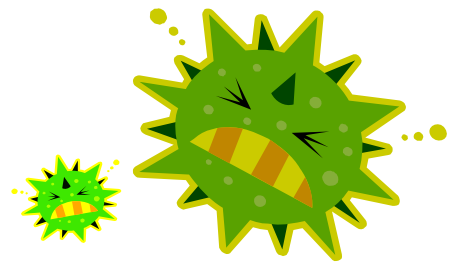


平成21年10月

かんせんしょう

京都市こどもの感染症



☆☆ 去年の今ごろ、京都市で多かった感染症

1 位	2 位	3 位
感染性胃腸炎	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	突発性発しん
発熱、下痢、おう吐などが主な症状です。予防は、外出後、調理前、食事前、トイレの後、オムツ交換後などの手洗いが基本となります。下痢やおう吐が続くと脱水症になりやすいので、水分補給をこまめに行いましょう。	のどの痛みと発熱で始まり、赤い発しんが全身に広がります。3～4日すると、舌がいちごのように赤くなってぶつぶつになる「いちご舌」と呼ばれる症状が特徴で、4～5歳での感染が多くなっています。	赤ちゃんの「生まれて初めての発熱」であることが多く、生後6ヶ月から1歳くらいまでの子どもがよくかかります。突然の高熱が数日間続いたあと、熱が下がるとともに、発しんが出ます。



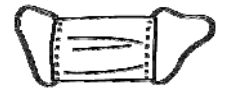
インフルエンザ 病院へ行く前にまず電話

急な発熱、のどの痛み、せきなどの症状が出たら…



● 病院へ行く前に

- ◆ かかりつけ医や身近な病院などに**事前に**電話で相談し、指示に従いましょう。
- ◆ 来院時には、感染を広げないために**マスクの着用**を心がけましょう！



● 乳幼児や、妊婦の方、ぜん息、心臓病などの持病がある方の場合？

- ◆ 気になる症状があれば、できるだけ早く電話で連絡のうえ、受診しましょう。
- ◆ あらかじめ、症状が出たときにどうするかを、かかりつけ医と相談しておくとう安心です。

● お子様にこんな症状があれば必ず受診してください

インフルエンザを疑う症状（急な発熱など）に加え

- ◆ 呼吸が速い、息苦しそうにしている、異常な呼吸がみられる（例えば、胸と腹部の動きがシーソー様など）。
→ **肺炎の疑いがあります。**
- ◆ 呼びかけに答えられないなど意識の低下がみられる。
- ◆ 普段みられない言動がみられる。
- ◆ けいれん発作を繰り返したり、けいれん後30分以上意識が完全回復しない状態が続く、けいれんが左右対称でない。
→ **インフルエンザ脳症の初期症状の疑いがあります。**

これらの症状があれば、できるだけ早く受診してください。

また、解熱剤のなかには、さらに症状を悪化させるものがあるので、必ず医師の指示に従って使用してください。

インフルエンザの予防には、手洗いとうがい、そしてふだんから十分な睡眠、栄養をとることが効果的です。